



トーキョーよ、 夢を見ているか。

トーキョーには、夢が密集している。
多くのスタートアップが集まるこの街で、ちゃんと夢は羽ばたいて
いるのだろうか。スタートアップから、時価総額10億ドル以上の
ユニコーン企業に成長したのは、日本でわずか6社。
それが、トーキョーの底力なのか。
0から1を生み出す、ビジネスアイデアは大事だ。
しかし、その次が課題なのだ。事業を1から10へ、100へと
育てる環境づくりが必要になってくる。

あるオフィスに、Tシャツ姿の銀行員がいる。
きらぼしグループが運営している、インキュベーション拠点
「KicSpace HANEDA」だ。日々、さまざまなスタートアップと向きあう。
ビジネスマッチングの橋渡しとして、国内外の顧客や出資元、
パートナー企業とつなぐ。財務のメンターから、知財対策などの
サポートまで行う。資金だけが支援ではない。きらぼしグループは、
本当の成長を届けたい。コンサル・ITにも広がるグループ力、
大手企業や海外とのネットワーク……目に見えない融資とともに。

きらぼしグループの担当者は語った。
起業家と同じ言葉で、同じスピードで話せる。
今までの銀行には、そんな人材が足りなかったんです。
まっすぐな想いに、きっとスーツはきゅう屈だ。

TOKYOに、つくそう。



 東京きらぼしフィナンシャルグループ

 きらぼし銀行

 U-i Bank